

普及啓発事業についてご紹介します。普及啓発事業は市民、行政、企業、各種団体と一体となって、自然に親しみ、緑保全の輪が広がり、生物多様性の理解が深まるような市民参加型、体験型イベントを目指しています。ただ、2022年度は新型コロナ禍の影響で前年度よりは活動できたものの、特に室内で行うイベントはコロナ流行前より人数の縮小や時間の短縮を余儀なくされました。以下、2022年度の活動をご紹介します。

5月連休の長久保公園「春の緑と花のまつり」に参加しました。パネルに植物観察写真、竹炭焼き説明、FGS活動のPRなどを添付、自然生態系の大切さを訴えました。

竹馬試乗体験や竹万華鏡・松ぼっくりビーズ・どんぐり人形などの工作体験、竹細工・ひょうたん・ペンダント・竹炭などの頒布を行いました。一部は藤沢市みどり基金に寄付しました。



6月の「引地川親水公園まつり」に参加し、森の恵みを活かしたクラフト作りを子供たちに伝授しながら、作ってもらいました。

8月「夏休み竹馬づくり教室」開催。8組の親子が参加しました。



長久保公園「秋の緑化推進まつり」

定番の松ぼっくりビーズやどんぐり人形に加え、シュロバッタやハロウィンかぼちゃも出品、日大生も参加してくれました。

11月に主催事業である少年の森第6回「ふじさわ子ども森の探偵団」を開催しました。子供たち21名が参加、5班に分かれ、のこぎりを使って実際に木を伐採しました。道具の使い方、木を切る手順、安全について学びました。父兄を対象とした樹木観察ツアーは9名が参加し、森の危険、森の植物、ナラ枯れ等の説明を致しました。今年も日大生4名が参加してくれました。参加者たちは落ち葉で焼いた焼き芋を食べ、楽しく充実した時間を過ごしました。



その他、年末にかけては「藤沢環境フェア」に参加、長久保公園ではクリスマスリース作り（親子8組参加）、ミツロウのキャンドル立て作り（親子7組参加）に参画し、2023年は長後公民館との共催で自然観察会や大庭公民館との野鳥観察イベントを予定しています。



普及啓発事業としては今後自主・共済事業を拡大して、自然生態系の大切さや生物多様性の意義を子供たちや市民の方々に発信すべくイベントなどを工夫していきたいと考えています。

